

## 研究開発課題中間評価結果

事業名（領域名）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 (RNA 標的創薬技術開発)
公募研究開発課題名	新規 RNA 標的医薬品の研究開発
評価研究開発課題名	新規修飾 siRNA と核酸デリバリーの最適化による難治性卵巣がん治療に関する研究開発
代表機関名	学校法人慶應義塾
研究開発代表者名	谷口 博昭
所属・役職	慶應義塾大学医学部・特任准教授
全研究開発期間	令和3年度開始～令和7年度終了予定

### 【評価結果】

優れている／計画を超えて進捗している

### 【評価コメント】

卵巣がん治療の新たなアプローチとして PRDM14 という特異的分子を標的とする研究が進んでおり、知的財産も確保されている点、および Conjugate を使用した siRNA の導入や、in vivo での抗腫瘍効果の確認が行われており、順調に実験が進んでいることが評価された。一方新たな Conjugate の検討や効果向上のための戦略の再構築をおこなうとのことであり、前臨床試験に向けて、原薬合成の体制整備等を準備していくことが期待される。